

「待降節第一主日」 2021年11月28日 「一緒に祈りましょう」

皆様、
主の希望、信頼、平和のうちに、信仰はわたしたちの盾です。

11月28日は、**「待降節第一主日C年」**です。

今日、皆さんは参加することが出来ないので、一緒に心をあわせて、祈りましょう。時間がある時は、一本のろうそくをつけて、沈黙し、十字架のしるしをゆっくり行いましょう。

「聖書と典礼2021.11.28」をお持ちであれば、その流れに従って、次にあるコメントを自由にお使い下さい、少なくとも、聖書を開いて、第一朗読エレミヤ書33.14-16と、「答唱詩編」25 (24)、第二朗読使徒パウロの1テサロニケの教会への手紙3.12-4.2と、ルカによる福音21章25-28、34-36節を読み、個人的に黙想し、神のみ言葉についての分かち合い/共同祈願を行いましょう。

コメント アントワン神父

待降節に入ると、典礼「典礼歴、教会カレンダー」では新しい年が始まり、日曜日に朗読される福音が変わります。今年(2021-2022)は、C年で、わたしたちはルカによる福音を読むこととなります。

I- 第一朗読 エレミヤ書33.14-16 について

預言者エレミヤはエルサレムの滅亡、神の民の捕囚を預言してから、慰めとして、「ある日、ある時」救い主メシアが来ると言う良い知らせも述べ伝えました。

II- 「答唱詩編」25 (24) について

神に向かってへりくだる信徒の祈りの詩編です。信徒は自分の弱さ、貧しさ、過ちを認めて神の道を歩むように願います。

「主(イエス)は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。」(2コリント8.9)。

「心の貧しい(へりくだる)人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである。」(マタイ5.3)

この詩編を祈りながら自分自身のためだけではなく、教会、共同体、社会のために祈りましょう。

III- 第二朗読使徒パウロの1テサロニケの教会への手紙3.12-4.2 について

使徒パウロは、異邦人の地ギリシャのテサロニケという地方に、初めて生まれた小さなキリスト者の共同体の信徒たちへ、「聖なる者の道」を教えています。

IV- ルカによる福音 21章 25-28、34-36 節について

イエスの話しは分かりにくいのですが、ほとんど旧約聖書の預言書の言葉で作られた話しです。このイエスの話は「バー・コード」のようなものです。買い物をする時、どんな物にもその包みに「バー・コード」が付いています。この「バー・コード」には商品についての様々な情報が記録されています。そして、レジスターのスキャンで「ピ！」と「バー・コード」を読み取り、値段を表示します。それだけではなく、「バー・コード」によって商品の管理も容易に行っています。

福音史家ルカはイエスがメシア、ユダヤ人の待ち望んだ救い主だということを人々に理解させるために、同じような「バー・コード」の方法を使いました。

今日の福音でのイエスの話は「バー・コード」です。それはこの話がメシアについて様々な情報を含んでいるからです。ルカはイエスを旧約聖書、特に預言者イザヤ、エゼキエル、ハガイ、とダニエル書の、メシアについての言葉と繋ぎながら話をしました。当時のユダヤ人は旧約聖書をほとんど暗記していたのでその話を聞いたり、読むとすぐ預言者の言葉を思い起こしました。私たちに与えられた聖霊は、初代教会から今までの聖書の「バー・コード」を読み取る機械です。イエスは「弁護者、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさてくださる。」(ヨハネ16.26)、「聖霊が来るとあなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。」(ヨハネ16.13)と教えられました。

今日の福音のバー・コードをスキャンすると、メシアとしてのイエスの呼びかけです。それは、今の社会の中で福音に忠実な証し人として生活するように、そしてそのために祈りなさいと言うことです。

待降節の第一の主日になって、私たちはイエスの誕生を迎える準備に招かれています。福音に忠実な証し人として生活出来るようにお祈りを大切にいたしましょう。聖書、特に今年のルカによる福音書や詩編を読むこと、またロザリオを黙想すること、日々の祈りの本を祈ること、新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り、シノドスのための祈りなど、沢山の「祈り方」があります。自分の心の動きに合わせていたしましょう。祈りは毎日の必要な糧だからです。

(沈黙、分ち合いか/共同祈願か)

次に、祈りましょう。(ミサの集会祈願)

「正義と慈しみに満ちておられる神よ、救いの訪れを信じ、解放の時を待ち望む私たちの心を目覚めさせて下さい。希望の光であるキリストを見つめて、歩み続けることが出来ますように。

聖霊の交わりのなかで、あなたとともに世に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。」

最後に 十字架のしるしをゆっくり行いましょう。「父である神様に感謝」。

2023年を向かって、シノドスのための祈りを一緒に祈りましょう。(別紙)

シノドスのための祈り Shinodosu no tameno inori

「ともに歩む教会のため ー交わり、参加、そして宣教 ー」

« Tomoni ayumu kyôkai no tame - Majiwari, Sanka, soshite Senkyô - »



聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立ち、Seireiyo, watashitachiwa anatano maeni tachi, あなたのみ名によって集います。Anatano minaniyotte tsudoimasu.

わたしたちのもとに来て、とどまり、watashitachino motonikite, todomari, 一人ひとりの心にお住まいください。hitorihitorino kokoroni osumaikudasai.

わたしたちに進むべき道を教え、Watashitachini susumubekimichi o oshie, どのように歩めばよいか示してください donoyôni ayumeba yoika shimeshitekudasai

弱く、罪深いわたしたちが、yowaku, tsumibukai watashitachiga,

一致を乱さないよう支えてください。Itchi o midasanaiyô sasaetekudasai.

無知によって誤った道に引き込まれず、muchu niyotte ayamatta michini hikikomarezu, 偏見に惑わされないよう導いてください henken ni madowasarenaiyô michibiitekudasai

あなたのうちに一致を見いだすことができますように。Anatano uchini itchi o miidasu kotoga dekimasuyôni.

わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け watashitachiga eienno inochiheno tabio tsuzuke 真理と正義の道を迷わずに歩むことができますように。shinri to seigino michi o mayowazuni ayumu kotoga dekimasuyôni.

このすべてを、kono subete o,

いっどこにおいても働いておられるあなたに願います。Itsu dokoni oitemo hataraitte orareru anatani negaimasu.

御父と御子の交わりの中で、世々としえに。アーメン。Onchichi to onko no majawari no nakade, yoyo tokoshieni. Amen.